

## 運営方針の振り返りについて

「運営方針」は、区の課題や、課題解決に向けた施策の方向性などについて記載しておりますが、年度末に区長が自己評価を行い、施策の見直しや、次年度の運営方針策定、予算等への反映につなげています。

運営方針の自己評価については、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第5条」に基づき、区政会議の委員のみなさまにご意見を求めることとされていますので、第1回区政会議において、「『令和4年度 大正区運営方針』の振り返りについて」議題とさせていただきます。

【書類番号1-2】「令和4年度大正区運営方針」の自己評価の方法について、本資料を作成いたしましたので、ご参考にしていただき、ご質問・ご意見をいただきたく存じます。

### ■様式1 施策の選択と集中の全体像(概要)

運営方針全体の取組を総括し、1年間の取組成果や判明した課題に対する今後の方向性について、大正区役所全体としての認識を示しています。

#### ①【1年間の取組成果と今後取り組みたいこと】

・1年間の取組の結果、市民等から見て、どのような成果があったと考えられるのか、また、今後より大きな成果を得るために、どういったことにどのように取り組んでいくのかを記載しています。

#### ②【解決すべき課題と今後の改善方向】

・経営課題のなかで、順調でない戦略や有効性の低い戦略について、どういった課題があり、どのように改善していくのか、また、新たに解決すべき課題が生じていれば、どのように対応していくのかについて記載しています。

### ■様式2 重点的に取り組む主な経営課題

戦略及び具体的取組の取組実績を踏まえ、各指標の達成状況を判定し、経営課題ごとに戦略の有効性や課題・対応方向を明らかにしています。

#### 1. 具体的取組

各具体的取組について1年間の実績を振り返り、予定どおり取組内容を実施しプロセス指標が達成できたかどうか、また、その取組が戦略の進捗を図るうえで有効かどうかを評価しています。

#### ③【当年度の取組実績】

・当年度の取組内容に記載した活動指標の実績を記載しています。

#### ④【プロセス指標の達成状況】

・プロセス指標について測定した数値を記載しています。  
・目標達成状況・取組実績に応じて、次の評価区分(①～③及び(i), (ii))のいずれかを記載しています。

評価区分		目標達成状況		
		達成	未達成	撤退・再構築基準未達成
取組実績	予定どおり実施	①(i)	②(i)	③
	予定どおり実施しなかった	①(ii)	②(ii)	

⑤【戦略に対する取組の有効性】

・プロセス指標の達成状況に応じて、「標準的な評価事例」を参考に、具体的取組が戦略に対して有効かどうかを判断して、次の評価区分(ア, イ, -)のいずれかを記載しています。

ア:有効であり、継続して推進      イ:有効でないため、取組を見直す  
 -:プロセス指標未設定(未測定)

標準的な評価事例

評価区分	①(i)	①(ii)	②(i)	②(ii)	③
有効性	ア	イ	ア or イ <sup>※1</sup>	ア or イ <sup>※1</sup>	イ
	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>	- <sup>※2</sup>

※1:目標達成状況が②の取組は、その取組の実施により得られる成果が、戦略の進捗に寄与すると考えられる場合(相関関係がある場合)は「ア」、そうでない場合は「イ」としています。

※2:プロセス指標が未設定や未測定の場合、取組を実施した結果、どのような状態変化が生じたかを客観的に測定できず、戦略の進捗状況が判断しにくいいため「-」としています。

⑥【課題】

・取組の評価結果や有効性を踏まえた課題を記載しています。

⑦【改善策】

・課題に対する改善策を記載しています。

2. めざす成果及び戦略

具体的取組の目標達成状況から戦略の進捗状況を判断するとともに、アウトカム指標に掲げた目標の達成状況を測定し、順調に推移しているのかを評価しています。

⑧【戦略の進捗状況】

・各具体的取組のプロセス指標の達成状況・戦略に対する取組の有効性に応じて、「標準的な評価事例」を参考に、次の評価区分(a, b)のいずれかを記載しています。

a:順調      b:順調でない

標準的な評価事例

目標達成状況	有効性	戦略の進捗状況
①のみの場合	アのみの場合	a
	イがある場合	b
	-がある場合	a or b <sup>※</sup>
有効性に関わらず、目標達成状況に②もしくは③がある場合		b

※目標を全て達成していても、プロセス指標が未設定や未測定の実績がある場合、実績の効果からの客観的な測定ができないことから、その他のデータにより戦略の進捗状況を客観的に説明できれば「a」、説明できなければ「b」としています。

⑨【アウトカム指標の達成状況】

- ・アウトカム指標について測定した数値を記載しています。
- なお、同指標の前年度の数値を測定している場合は、右欄に前年度の数値も記載しています。
- ・アウトカム指標の達成状況について、次の評価区分(A,B)のいずれかを個別・全体欄に記載しています。  
**A:順調      B:順調でない**

⑩【戦略のアウトカム指標に対する有効性】

- ・戦略の進捗状況・アウトカム指標の達成状況に応じて、「標準的な評価事例」を参考に、次の評価区分(ア,イ)のいずれかを記載しています。  
**ア:有効であり、継続して推進      イ:有効でないため、戦略を見直す**

**標準的な評価事例**

評価区分		アウトカム指標の達成状況	
		A	B
戦略の 進捗状況	a	ア	イ
	b	ア or イ*	ア or イ*

※:取組レベルの改善により、戦略の進捗やアウトカム指標の達成が見込まれる場合は「ア」、そうでない場合は「イ」としています。

⑪【課題】

- ・アウトカム指標の達成状況や有効性を踏まえた戦略における課題を記載しています。

⑫【今後の対応方向】

- ・課題に対する対応方向を記載しています。

**3. 経営課題**

戦略レベルでの評価を基に、各戦略の進捗によるアウトカム指標の実現が経営課題の解決(めざすべき将来像の実現)に寄与しているかについて、全体を総括しています。

⑬【戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括】

- ・各戦略においてアウトカム指標の達成に向けて取組を進めた結果、経営課題に掲げた課題解決にどのように近づいたかを記載しています。

**■様式5 運営方針の達成状況(総括表)**

様式2で整理した評価結果について、総括して示す様式です。  
 様式2の各項目の評価結果について、合計数を集計して記載しています。